



# 羽中だより



目標 Keyword

令和6年12月23日号

安心感

寛容力

主体性

安心して学べる学級を築き、主体的に行動ができる羽中生

## 後期(2学期) を 振り返る

2学期のはじめに  
確認したこと生徒用学校評価より  
「学習」に関する記述のみ  
掲載しました。

- ◇自分から進んで学習したりした
- ◇自分から勉強するようになった
- ◇カテスタを自分から進んでやるようになった
- ◇前より勉強したいと、思えるようになった
- ◇学習面でも生活面でも、2学期よりも自分から考えて行動できるようになった
- ◇自分から勉強に取り組めるようになった
- ◇自主学習に取り組むようになった
- ◇家庭学習も頑張るようになって
- ◇自分から勉強するようになった
- ◇主体性は自分なりの勉強方法とかを見つけて高まった
- ◇勉強とか家で部活の練習をするっていうのに取り組めるようになってきた
- ◇小テストに向けてまえよりは勉強できるようになった
- ◇もっと勉強しなきゃいけないからって思った
- ◇主体的に勉強に取り組めるようになってきた
- ◇自主的に勉強することが増えたと思った
- ◇宿題をなくしたことで、より自分で勉強しようという気になった
- ◇みんな自分から勉強したり、仲良くできるようになった
- ◇2学期はカテスタを続けられたから3学期も続けられるように頑張る



- ◆自分から進んで勉強できなかった
- ◆家で勉強ができなかった
- ◆自分から取り組もうとしなかった
- ◆勉強を全然やらなかった。3学期はちゃんと勉強する。



## イイ授業はみんなでつくる 毎日の300分でチカラをつける

「学校は勉強をするところです。いろいろな活動はありますが、学校にいる間の300分もが授業時間です。その大切な授業では、一人一人が目的意識をもって**主体性**の高い取組を行い、**安心感**や**寛容力**のある心理的安全性が確保された学級で学べるようにしなければなりません。だから、2学期は誰もが安心して勉強に取り組める学級づくりを重点として頑張ってください。1学期に見られた居眠りや関係のない私語、冷やかしかからかいなどが増えてくると、いわゆる学級崩壊につながり、授業が成り立ちません。先生だけが頑張るのではなく、『イイ授業はみんなでつくる』を意識してください。そして、『毎日の300分でチカラをつける』ということを目指して取り組んでほしい！」

以上は、2学期の始業式で私(校長)から全校生徒に伝えたことです。

今月になり、2学期を締めくくる時期となったため、子どもたちに後期学校評価を実施して、記述による学校目標の振り返りをしてもらいました。すると、左にあるように、前期(1学期)の学校評価に比べて「勉強」に関する内容が多い傾向がありました。

主体的な学習への取組を促すため、夏休みの一律宿題の廃止、2学期の中間テストの廃止や期末テストの5教科限定など、これ

までの学校の取組を見直したことが、以前よりも学習に意識を向けるきっかけになった…と信じていたものです。また、教科の先生方の働きかけや、学級での指導が功を奏し、各学年の実態に応じた放課後学習会が継続的に行われるようになりました。かつて「アカ点(不合格点)を取ったら強制的に残らされて…」という時代もありましたが、今は自分から進んで居残りして勉強に取り組む生徒が増えていきます。

このような勉強への取組が、羽中の当たり前の「風土」として定着することを願います。

勉強して結果が出ると**自信**になる

勉強して結果が出なくても**経験**が残る

勉強せずに結果が出ないと**後悔**が残る

勉強せずに結果が出ると**傲慢**になる

ごうまん

↑これ、一番ダメ！



Q. (安心感・寛容力・主体性)について、「高まった」「高まらなかった」と考える理由などを説明してください

生徒用学校評価より  
「高まった」の理由

- ・クラスでの主体性などが少し高まったと思ったから
- ・何に対しても主体的に取り組むことが増えたから
- ・思いやりが増えたと思うから
- ・安心感については、学校生活で不安定なことがないからです
- ・寛容力は友達の意見とかを受け入れられることが増えたりしたことです
- ・日常生活などでも、みんなで話しクラスがよりよくなる方向へと進んできたから。
- ・自分から進んで取り組むことが増えて、人の意見をしっかり受け入れて考えられるようになったから。また、学校も過ごしやすくなっている。
- ・自分から行動するようになった気がする
- ・そうするためにどうするかをすぐ考えて行動することができた
- ・学校行事や普段のクラスでの活動を通してそう思うことが増えた
- ・自分の居場所を見つけたかも
- ・先生方の授業方法の改善が大きく影響していると思いました。やはり生徒同士で交流をすると、生徒同士で、独特の見識を分け合い、安心感と寛容力、特に主体性が成長すると思いました。
- ・クラスで発表したら拍手してくれたり、間違っても笑ってくれたり励ましてくれたから
- ・皆で行動とかできるときに注意ができるようになったり周りを見たりできるようになった。
- ・学校の大きな目標になったから、自分も意識して取り組むことができた
- ・自分から進んで活動したり、相手のことを考えた発言ができた。
- ・楽しいから
- ・昔よりも積極的に取り組んでいるから
- ・いろいろ考えて行動できたから
- ・ある程度高くなった気がした
- ・主体性は総務ができたので高まりました。
- ・自分から人を助けたから高まった
- ・嫌になる気持ちが薄まった
- ・先生が授業で目標についてやっていたから
- ・たくさん交流できたのと、段々中学校のふいんきになれてきた
- ・宿泊研修や職場体験などを通して自分なりに高められたと思う
- ・最近だといじりも1学期に比べたら少なくなってきたしメリハリをもてるようになってきたし家庭学習も頑張るようにしてるから
- ・自分や周りのことを前よりも考えられるようになった
- ・だんだんとこのクラスに慣れてきたのが大きいと思う
- ・人がやっていない事でも、少しは率先して動けるようになってきたから
- ・なんか前より良くなったから
- ・行事を通して主体性や寛容力を育てることができた
- ・自分から何かを言えるようになってきた！
- ・今までより自分からやることが多くなった気がするから
- ・みんなの協調性が増したと思ったから
- ・クラス全体が、みんな誰とでも話せるような仲になってると思ったから。
- ・自分が言ったことに責任をとれるようになった
- ・このクラスにいたくないなって思うことがへった。
- ・〇年生になって時間がたったから自然とみんな関係がよくなってる気がするから
- ・いろんなことをできるようになったから
- ・みんな自分から勉強したり、仲良くできるようになったから
- ・自分で考えるようになった
- ・安心感は一学期よりはよくなったと思う



この2学期、多くの子たちが学校目標の達成を意識し、自分の「高まった」と思える資質や能力を自覚していることがわかりました。このことをとても嬉しく思っています。また、自分のことだけではなく、学級全体にも目を向けて評価できていることにも感心しています。

一方で…

- ・自分で高まっている実感があまりわからないなと思ったから
- ・そんなに楽しい活動なんてしてないし学校の活動だけで安心感なんて高まらないから
- ・自分から進んで勉強できなかった
- ・陰で自分のことの悪口言われてそうで怖いから
- ・友達に冷やかashiを受けたりしたため安心感が高まらなかった
- ・学校の対応力低い

……などの、マイナス評価となる感想をもった子どもたちもあり、まだまだ課題が残っているのが現状です。今年度は残り少なくなりましたが、学校全体で解消に向けた取組をしていきます。

一人一人が自分と異なる考え方を受け入れられる寛容力を高めることにより、集団の安心感を保ち、誰もが過ごしやすい学級・学校にすること。そして、自己の成長に対して主体的な考えをもって前向きな行動ができるよう、3学期も指導・支援に努めていきます。

なお、今回も保護者の皆さんにも学校評価に協力していただきました。結果は3学期に改めてお知らせいたします。ここで頂いたご意見やご要望についても検討し、できる限り対応していきます。



2024年も本校の教育活動に対し、保護者をはじめ関係各位には多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。2025年も引き続き、よろしくお願いいたします！

